



27-28 March 2021

The 28th Annual Meeting of
Excavations in West Asia



ヒエラコンボリス遺跡食品加工施設
(左奥はビール醸造址) [エジプト]



ハウラー遺跡後背地の碑文とペトログリフ [サウジアラビア]

第28回

西アジア発掘調査報告会

— 令和2年度 考古学が語る古代オリエント —

2021年3月27日(土)・28日(日)

主 催: 日本西アジア考古学会

後 援: 国土舘大学イラク古代文化研究所・日本考古学協会

早稲田大学エジプト学研究所

毎春恒例の報告会は、昨年度は残念ながら中止となりました。今年度は
会場での報告ではなく、オンラインという形で開催いたします。

2020年度に現地調査を実施した隊は少ないのですが、昨年度に報告集
で発表した内容に、調査全体の話や現状などを加えた形で、全25隊の報
告がそろいました。2日間にわたってZoomウェビナーでお届けします。

■参加方法: Zoomウェビナーによるライブ配信 (事後配信はなし)

■事前申込制 ※どなたでもお申し込みできます。(申込み先着500名)

■参加費無料

本事業は、日本学術振興会令和2年度科学研究費助成事業 20HP0004の助成を受けています。



トール・ハマル遺跡の上部旧石器資料 [ヨルダン]

0 3cm

■申し込み方法

イベント管理サービス「Peatix(ピーティックス)」内の
「日本西アジア考古学会」専用ページでお申し込
みください。

<https://jswaa.peatix.com/>



■申し込み期間: 3月1日(月)正午~3月26日(金)正午

※締切後は受け付けできませんので、ご注意ください。

■報告集について

※例年参加費と引き換えに配布している予稿集「西アジア発掘
調査報告会報告集」は、お申込み後、報告会開催前までに無
料のPDFをご案内します。

※同じ内容の紙媒体の報告集を希望される方は、学会WEB
をご覧ください(有料。4月下旬頃に印刷・郵送の予定)。

※上記申込方法については、日本西アジア
考古学会のWEBでも説明しています。



カフィル・カラ遺跡出土宝飾品 [ウズベキスタン]



※発表者が複数の場合も1名(団長、会員)のみが記載されています。また、当日発表する方とは一致しない場合もあります。

| 2021年 3月27日(土) | |
|---------------------------------|---|
| 9:45 | 受付開始 |
| 10:00-10:10 | 聴講方法の説明(実行委員会) |
| 10:10-10:20 | 開会の辞 |
| クルディスタンの調査 | |
| 10:20-10:45 | 報告① 肥沃な三日月地帯東部の新石器化 —イラク・クルディスタン、スレマニ地域チャルモ遺跡の調査(2019・2020)— 筑波大学名誉教授 常木 晃 |
| 10:45-11:10 | 報告② 新石器化と都市化のはざま —イラク・クルディスタン、シャフリゾール平原の先史遺跡調査(2019-20年)— 金沢大学国際文化資源学研究所センター特任准教授 小高 敬寛 |
| 11:10-11:35 | 報告③ アッシリア帝国東部辺境を掘る —イラク・クルディスタン、ヤシン・テペ考古学プロジェクト:2020年度の進展— 中部大学人文学部准教授 西山 伸一 |
| レヴァントの調査 | |
| 11:35-12:00 | 報告④ ホモ・サピエンスの拡散・定着期における文化動態 —南ヨルダン、カルハ山の旧石器遺跡調査(近年の動向)— 名古屋大学博物館講師 門脇 誠二 |
| 12:00-12:55 昼食休憩 (55分) | |
| 12:55-13:00 聴講方法の説明(実行委員会) (5分) | |
| 13:00-13:25 | 報告⑤ ヨルダン南部ジャフル盆地の遊牧化 —四半世紀の調査を振り返って— 金沢大学特任教授 藤井 純夫 |
| 13:25-13:50 | 報告⑥ イスラエル国、テル・レヘシュの「下の町」 —第12次調査(2019年)を中心に— 天理大学文学部准教授 橋本 英将 |
| 13:50-14:15 | 報告⑦ レヴァント回廊の歴史を探る —第6次(2020年)・フェニキアの港バトルーン遺跡の発掘調査— 中部大学人文学部准教授 西山 伸一 |
| 14:15-14:40 | 報告⑧ ウム・カイスにおけるローマ帝国からビザンツ帝国への移行(その2)— 国士舘大学ヨルダン、ウム・カイス遺跡調査— 国士舘大学イラク古代文化研究所共同研究員 松本 健 |
| 14:40-15:00 休憩(20分) | |
| コーカサス、アナトリアの調査 | |
| 15:00-15:25 | 報告⑨ 南コーカサス地方の新石器時代 —アゼルバイジャン発掘調査(2008-2019年)— 東京大学総合研究博物館教授 西秋 良宏 |
| 15:25-15:50 | 報告⑩ 初期待住集落の姿を探る —トルコ、ハッサンケイフ・ホユックにおける発掘調査— 筑波大学人文社会系教授 三宅 裕 |
| 15:50-16:15 | 報告⑪ 中央アナトリアにおける銅器時代解明へ向けて —キュルテベ遺跡北・西トレンチ発掘調査(2020年)— ノートルダム清心女子大学教授 紺谷 亮一 |
| 中央アジアの調査 (1) | |
| 16:15-16:40 | 報告⑫ 北ユーラシアの旧人・新人交替劇 —ウズベキスタン旧石器遺跡調査(2013-2019年)— 東京大学総合研究博物館教授 西秋 良宏 |
| 16:40-17:05 | 報告⑬ 中央アジア初期農耕牧畜民の交流から東西交渉の始まりを探る —キルギス、モル・ブラク1遺跡(第1~3次)、ウズベキスタン、ダルヴェルジン遺跡(第1~2次)の発掘調査(2016-2019年)— 東京芸術大学特任講師 久米 正吾 |
| 17:05 | 1日目終了 |

| 2021年 3月28日(日) | |
|---------------------------------|--|
| 9:45 | 受付開始 |
| 10:00-10:05 | 聴講方法の説明(実行委員会) |
| 中央アジアの調査 (2) | |
| 10:05-10:30 | 報告⑭ シルクロード天山北路の形成と展開 —キルギス共和国、チューン渓谷西部の考古学踏査(2018・2019年)— 奈良文化財研究所研究員 山藤 正敏 |
| 10:30-10:55 | 報告⑮ アムダリヤ流域におけるクシャン期仏教遺跡の探査 —ウズベキスタン共和国テルメズ市南部のズルマラ仏塔の調査— 立正大学特任講師 紺野 英二 |
| 10:55-11:20 | 報告⑯ ウズベキスタン共和国カフィル・カラ遺跡発掘調査 2020年度までの成果—出土遺物に見るカフィル・カラの文化交流— 北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター共同研究員 村上 智見 |
| アラビア半島の調査 | |
| 11:20-11:45 | 報告⑰ ディルムンを掘る —バハレーン、ワーディー・アッ=サイル考古学プロジェクト2020— 東京文化財研究所研究員 安倍 雅史 |
| 11:45-12:55 昼食休憩 (70分) | |
| 12:55-13:00 聴講方法の説明(実行委員会) (5分) | |
| 13:00-13:25 | 報告⑱ バハレーン、ティロス期の古墳の調査 —バハレーン、マカバ古墳群の発掘調査2016-2020— 奈良県立橿原考古学研究所技術アドバイザー 西藤 清秀 |
| 13:25-13:50 | 報告⑲ ディバ砦の発掘2020 —シャルジャ酋長国, UAE— 金沢大学名誉教授 佐々木 達夫 |
| 13:50-14:15 | 報告⑳ サウジアラビア紅海沿岸ハウラー遺跡の考古学調査 (2020)—中世の港町の構造を探る— 早稲田大学・東日本国際大学客員教授 長谷川 奏 |
| エジプトの調査 | |
| 14:15-14:40 | 報告㉑ 先王朝時代の儀礼祭祀の痕跡か? —エジプト、ヒエラコンポリス遺跡の発掘調査(2020年)— 早稲田大学エジプト学研究所客員研究員 馬場 匡浩 |
| 14:40-15:00 休憩(20分) | |
| 15:00-15:25 | 報告㉒ 紀元前2千年紀エジプトの葬制の変遷を探る —ダハシュール北遺跡第27次調査(2020)— 東日本国際大学エジプト考古学研究所客員教授 矢澤 健 |
| 15:25-15:50 | 報告㉓ 前1千年紀の集落址と採石場址 —エジプト・アコリス遺跡の調査2019— 東京都立大学客員研究員 花坂 哲 |
| 15:50-16:15 | 報告㉔ ネクロポリス・テーベ研究 —エジプト、ルクソール西岸アル=コーカ地区、第13次調査— 早稲田大学文学学術院・早稲田大学エジプト学研究所教授 近藤 二郎 |
| 16:15-16:40 | 報告㉕ エジプト、北サッカラ遺跡の未知の墓地を掘る —ローマ支配期のカタコンベの意義および今後の調査の展望— 金沢大学・新学術創成研究機構教授 河合 望 |
| 16:40-16:45 | 閉会の辞 |
| 16:45 | 閉会 |

お使いの回線・機器の状況によっては、視聴中に通信状況が不安定になったり、映像等の不具合が起こったりすることもあります。安定したインターネット環境で視聴することをおすすめいたします。
接続アクセスに関するサポートはできません。あらかじめご了解くださいますようお願い申し上げます。